

拝啓 今年も早や5月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、木々の緑が濃くなりました。ブタクサ等の雑草がきれいに咲いています。

今回も、「小西芳之助先生金曜会語録」からの引用です。今回の部分は、阿部達雄君が同志会に入っていた頃の話で、彼はこの話を直接聞いただろう、などと思いながら作成しました。今回の見出しでは、「毎日のことを真剣に取り組め」「キリスト教の救いとは限りなき命」「俗事と伝道とは同じ価値」等にはっと致します。

5月16日(土)岡山の山陽新聞社主催のセミナーの講師に招かれ、「南原繁の生涯に学ぶ一出会いの大切さ」という題で90分の講演をしてきました。郷里での講演ということで、準備を充分して話しました。知人を10人招待できたので、高校時代岡山エーデルヴァイス山岳会で、山登りの素晴らしさ、厳しさを教えて下さり尊敬する竹馬浩さん(現チクバ外科病院会長)等をお招きしました。後で竹馬さんから以下のようなはがきを頂き、大変うれしく思いました。「立派な講演を植田君と隣席で聴かせて頂き、『さすがは山口!』と感じ入りました。硬い話かと思っていましたら、戦前戦後の日本の重大時代に日本中枢のブレーンとして活躍された南原繁先生の偉大さがよく解り、素晴らしい話でした。私は安田講堂の全共闘時代に阿佐ヶ谷でインターンをしており、国会デモにも加わりましたが、南原総長の毅然たるお姿が印象に残っています。郷土に錦を飾る名講演にお招き頂きありがとうございます。モンちゃん(原田元衛先生)にも報告しました。」

講演の前日には、墓参りをし、中学校時代以降の恩師原田元衛先生を訪ねた後、市内の二つの美術館を訪ねました。岡山オリエント美術館に初めて行きましたが、内容が立派なのに驚きました。

講演の後、夕方、ホテル・グランヴィアで、岡山操山高校の同級生が同窓会を開いてくれ、30人ばかりのなつかしい顔に出会いました。

5月23日(土)は、多磨墓地に、恒例の南原、矢内原、新渡戸、内村、吉野作造先生のお墓参りをしました。今年は、三谷太一郎先生が参加して下さったので、その他に、丸山真男、前田多門、床次竹二郎、福田歆一の諸先生のお墓もまわりました。一行8人で、遠くの墓はタクシー2台で廻りました。居酒屋のなおらいの席で、三谷先生から良い話を聞きました。

緑濃い時期ですが、そろそろ梅雨の時期になります。皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

平成27年5月25日

山口周三

エンカウターの読者各位